

事務事業名	《H22新規》地球温暖化対策機器設置費支援事業		所属部局	総合政策部		単位番号	2111		
			所属課室	地球温暖化対策室		課長名	依田昭造		
	☐ 実施計画事業		所属担当	環境政策		担当者名	高野政樹		
基本政策	基本計画	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	
政策	19	自然環境の保全と活用	事業区分	01	一般	04	01	05	
施策	32	自然と共生する地域づくり							
事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始年度 年度)			法令根拠					
☒ 期間限定複数年度 (H22 ~ H26 年度)		南アルプス市住宅用太陽エネルギーシステム設置費補助金交付要綱							
事務事業の概要	事業の内容…期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (22年度)					
	住宅用太陽エネルギーシステムを設置した者に対して設置費の一部を補助することにより新エネルギーの利用促進を図る。(低炭素社会の実現に寄与する)			項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)					
	また、補助金を交付した者に対してアンケート調査を実施、その結果を今後の啓発活動に活用する。			消耗品費 13 その他補助金 11,990					
				計 12,003					

1 現状把握 (DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	22年度活動実績	対象システムを設置した者からの申請に基づき、補助金を交付。
	23年度活動予定	対象システムを設置した者からの申請に基づき、補助金を交付。
② 対象 (この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	住宅用太陽エネルギー設置者	
③ 意図 (この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	設置者に対して設置費の一部を補助することにより負担の軽減が図られる。(システムの導入がしやすくなる。)	
④ 上位目的 (どのような結果に結び付けるのか)	制度の利用者が増え、システムが増えることにより温室効果ガス(二酸化炭素、メタン)の排出量を抑えられる。	

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 補助金交付申請受付件数	件
	イ 補助金に関する市民への周知回数	回
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 住宅太陽エネルギーシステム	人
⑦ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 補助金額(太陽光)	円
	イ 補助金額(太陽熱)	円
	ウ 太陽光発電を設置した住宅等の増加率	%
⑧ 上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア システム(太陽熱温水器)の数	台
	イ システム(太陽光パネル)の数	KW

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 (トータルコスト・目標)	年度
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円		12,003	20,011	13,910	13,910	13,910	
	事業費計 (A)		千円	0	12,003	20,011	13,910	13,910	13,910	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	100	100	100	100	100	100	
		人件費計 (B)	千円	446	446	396	396	396	396	0
		(A)+(B)	千円	446	12,449	20,407	14,306	14,306	14,306	0
活動指標	ア	件		0.0	244.0	412.0	380.0	380.0	380.0	
	イ	回		0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
対象指標	ア	人			73,014.0	72,854.0				
	イ	人								
成果指標	ア	円			11,850,000.0	19,600,000.0	18,000,000.0	18,000,000.0	18,000,000.0	
	イ	円			140,000.0	400,000.0	400,000.0	400,000.0	400,000.0	
	ウ	%			162.0	165.0	91.8	100.0	100.0	
上位成果指標	ア	台			7.0	20.0	20.0	20.0	20.0	
	イ	KW			953.0	1,600.0	1,470.0	1,470.0	1,470.0	

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成21年度に市の機構改革などにより地球温暖化対策室が設置された。自然エネルギーの普及啓発を図っていく中で施策の一つとして住民に対する機器の設置に対する補助金制度を創設し住民への普及拡大を後押しする。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	H22年度からスタートした補助金、温室効果ガスの排出削減を目的に、また理解を得られた市民により設置がされてきたが、電力会社による余剰電力買取単価が増額したり、社会全体が太陽光発電の普及活動が盛んになっている。震災による原発事故に伴い、太陽光エネルギーが注目され需要も増加傾向。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	平成17年度に一度廃止された国の補助事業が平成21年1月より復活したことにより、市民からの問合せや議会からの制度に対する要望意見などが上げられている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☐ 取り組みしている ⇒ [内容↓] ☒ 取り組みしていない ⇒ [理由↓]
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	平成22年度にスタートした事業なので特別の改革改善はしていない。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	なし

事務事業名	＜H22新規＞地球温暖化対策機器設置費支援事業	所属部	総合政策部	所属課	地球温暖化対策室
-------	-------------------------	-----	-------	-----	----------

2 評価 (Check1) 担当者による事後評価 (複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない (見直し余地がある) ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由 ↓] 自然環境の保全と活用の政策で地域新エネルギービジョンに掲げた新エネルギーの導入目標の3%をクリアするためには公共施設ばかりでなく、一般住宅にも導入する必要がある、この補助制度は市民の導入の後押しとなる。また、上位目的にもつながる。	
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒ [理由 ↓] 政府のCO2削減目標25%をクリアするためなど、国は一度廃止した補助金制度を平成21年1月に復活させた。設備自体以前より価格は下がったがまだまだ高価なものである。長引く不況のなか、設置したくても導入が進まないのが現状である。県の利子補給と合わせて本市においても補助金制度を設けCO2の排出削減に寄与する。	
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由 ↓] CO2の排出削減を行っていくことと、東日本大震災による原発事故による電力不足という社会状況から、この制度を継続することは妥当と思われる。(ただし、補助金要綱では平成26年度までの制度としている。)	
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒ [理由 ↓] 補助金額は定額としているため、成果の向上は見込めないが、技術の進歩等により設置者が同金額でも効率のよい設備を付けられれば上位目的の達成に優位になる。	
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒ (類似する事務事業の名称を記入 ↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒ [理由と具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒ [理由 ↓] ☒ 類似事務事業がない	
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒ [理由と影響の内容 ↓] 要綱で平成26年度まで行う事業としているため、期限内の休止・廃止には影響がでる可能性がある。 ☒ 休止・廃止ができる ☐ 休止・廃止できない ⇒ [理由 ↓] 要綱で補助期間を設けているため、その期限を過ぎれば廃止が可能。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費 (コスト) を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由 ↓] 定額の補助金額を下げるしかないが、制度の有効期限内は難しい。(要綱の改定などにより、補助金を下げてコスト削減を図るか、) また、技術の進歩により高効率の設備を付けられるようになると、補助金は変わらず上位目的の達成には優位に働く (間接的)	
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？ (事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☒ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 削減余地がない ⇒ [理由 ↓] 臨時職員可能。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由・具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒ [理由 ↓] システムの設置者で市税に未納がない世帯については誰でも補助金を申請することができる。	

3 評価 (Check2) 担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括 (事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	住宅用の太陽エネルギー以外の、自然エネルギーについての補助金の要望もあり、検討の余地あり。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性 (Check1の結果から定める) … 複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携 (有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善 (公平性⑨の結果) ☐ 休止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上 (有効性④の結果) ☒ 現状維持 (全評価項目で適切) ☐ 必要性検討 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減 (効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☒</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>☐</td> <td>☐</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>☐</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☒	維持	☐	☐		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☒																		
	維持	☐	☐																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について																						
① ② ③																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
① ② ③	成果優先度評価結果 ⑤ コスト削減優先度評価結果 ⑨																					